



# 隈府小だより

学校教育目標「自ら考え なかまと高め合う 隈府小」

隈府小学校  
学校だより No40  
文責 芹川博文  
2月27日(金)

## 「もしも」のときの信頼関係と「約束」 ～ 防災について学ぶ 親子でマイタイムラインづくり ～

5年生が防災について学びました。印象に残った言葉は、「近所の方とあいさつを交わしていますか。だれが住んでおられるか知っていますか。」との問いでした。

能登半島地震（2024年）でも、日頃から良い人間関係のおかげで住民同士が安否確認や救助活動し、全員が助かった地区もあるそうです。日常のあいさつと信頼関係が「命綱」にもなった例です。

また、授業参観の中では10人もの防災マイスターの方にも参加していただき、親子で「マイタイムライン」を作りました。「もしも」の時にどう行動するか。たとえば家族バラバラになっても、たとえばスマホが使えなくても、「約束」があれば行動できます。再び家族で集まります。その「約束」は家族によって違います。事前に話し合うことが「命綱」になります。

防災マイスターの今坂様は、2021年の東京オリンピックで聖火ランナーを務められた経験の持ち主です。その時使用したオリンピックのトーチを見せながら、子ども達に話されました。「オリンピック選手も、本番であれだけのパフォーマンスをするためには準備が大事。いざという時のために準備をしておきましょう」の言葉に、子ども達もうなずいていました。「もしも」の時の、信頼関係と「約束」の大切さ。久しぶりに防災バッグの中身も確認したくなりました。



## 10歳の「節目」に思いを語る ～ 4年生「10歳を祝う会」から ～

4年生では、授業参観で「10歳を祝う会」が開かれました。生まれたころの写真とエピソードを添えながら、これまでの自分の成長の歩みと、これからの夢や目標について発表しました。人生の土台となる10年の中で、沢山の愛情を受け、経験をしてきた節目に、自分を語る子どもたち。それを友だちや保護者の方々が見守っていました。

我が家のことを話します。我が家は里親をしています。これまで、お盆や正月の期間に、「家庭体験」の短期受け入れを始めて約20年になります。家族の「かたち」はそれぞれですが、どの子ども、自分の家族や学校、地域の中で多くの人々と出会い、大人になっていきます。様々な経験を糧として、たくましく成長してほしいと願います。地域全体で応援したいものです。



## 「挑戦 可能性は無限大」 ～ 人権教育講演会 横田久世さんの話から ～

「自分で決めたことだから、自分との約束を守る」。横田久世さんの、力強い言葉が印象に残りました。

人権教育講演会の中で、5、6年生と地域の方に熱く語られた横田さん。突然の病気で両足切断と両手の指を切断。絶望の淵から立ち上がったのは、「前みたいに笑いたい」「こうなったことが不幸じゃないと証明したい」という熱い思いだったとのこと。熊本城マラソンに出場し3回目まで完走。今年も見事完走されました。「あきらめなければ挑戦し続けられる」という命溢れる元気と笑顔で体育館中が満たされました。最後は、一人一人とハイタッチしながら、子ども達を見送られた横田さん。

書道もされる横田さん持参の額には、「最後は、笑ったもん勝ち」の文字が躍動していました。

